学校番号	3010

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	論理国語	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校「論理国語」（第一学習社）						
副教材等	新訂版常用国語便覧（浜島書店）・〈五訂版〉漢字検定 5～2 級対応常用漢字ダブルクリア（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

実社会で必要な文章を「読む能力」「書く力」を、言語活動を通して身に付けることを目標とします。
様々な評論を通し、自分の意見を持つだけではなく他者とのやり取りを通して視野を広げていく。
文章を正確に読み取るだけではなく、一つ一つの問題について自分の意見や考えなども整理しながら評論を読み進めていきましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることがきるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	・筆者が定義する「天然知能」について把握し、これからの人間の知性のあり方について考えを深める。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。 ［教材］ 天然知能として生きる	a：文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 b［ 読 ］：根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 c：文章を粘り強く読み、学習課題に沿って本文の構成と論理の展開を捉え、要旨をまとめようとしている。	定期考査	定期考査 提出物 ワークシート	提出物 授業態度
	・文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。 ・根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する ［教材］ 自他の「間あい」	a：情報と情報との関係について深め、情報を階層化して整理する。 b［ 読 ］：内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。 c：自他の関係性についての筆者の主張を積極的に自身に引きつけて考え、表現の仕方を工夫して書こうとしている。	定期考査	定期考査 提出物 ワークシート	提出物 授業態度
	・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。 ・日本語の特徴について述べた文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする。 ［教材］ 「私」中心の日本語	a：読書の意義と効用を理解する。 b［ 書 ］：自分の考えが的確に伝わるよう工夫する。 c：学習課題に沿って、ある場面における自分自身をさす語の選択について積極的に考え、発表しようとしている。	定期考査	定期考査 提出物 ワークシート	提出物 授業態度
	・文章から筆者の問題意識や執筆意図を読み取り、自分の考えを論述したり発表したりする。 ・筆者の述べる西洋と日本の「自然」を対比的につかみ、筆者の問題意識や執筆意図に目を向ける。 ［教材］ 日本人の「自然」	a：文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 b［ 書 ］：自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。 c：「自然」という言葉について、それぞれの例における意味内容の違いを粘り強く説明しようとしている。	定期考査	定期考査 提出物 ワークシート	提出物 授業態度
	・筆者の感性や着眼点、表現の特徴について整理し、主張に説得力を持たせるための論展開について考える。 ・文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 ［教材］ 手の変幻	a：情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。 b［ 書 ］：『欠落』や『無』が重要な役割を果たしている「芸術作品」について、調査したこと文章にまとめる。 c：「欠落」や「無」が重要な役割を果たしている芸術作品の例について積極的に調べ、表現の仕方を工夫して報告文を書こうとしている。	定期考査	定期考査 提出物 ワークシート	提出物 授業態度
	・物語に描かれた人間と動物との関わりについて、筆者の主張とそれを支える根拠の関係に着目して理解する。 ・主張と根拠の関係に着目しながら粘り強く本文を読み、学習課題に沿って各段落の位置づけを分析しようとしている。	a：文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 b［ 読 ］：根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 c：積極的に「異類婚姻譚」で描かれる「悲劇」について調べ、表現の仕方を工夫して	定期考査	定期考査 提出物 ワークシート	提出物 授業態度

	［教材］ 越境する動物がもたらす贈り物	説明することで自分の考えを深めようとしている。			
	・文章を分析し、さまざまな観点から概要をまとめる方法を学ぶ。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する方法を学ぶ。 ［教材］ 推論とは何か	a：推論のしかたについて理解し、活用する方法を学ぶ。 b［ 読 ］：主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検証し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 c：推論の種類の違いを把握し、それぞれの事例について積極的に考え、その妥当性を検討しようとしている。	定期考査	定期考査 提出物 ワークシート	提出物 授業態度
	・文章を分析し、さまざまな観点から概要をまとめる方法を学ぶ。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する方法を学ぶ。 ［教材］ 帰納法のワナ――一般化に対する疑問	a：文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 b［ 読 ］主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検証し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する方法を学ぶ。 c： 複数の文章を粘り強く読み、推論について理解したことを生かして積極的に誤りを指摘しようとしている。	定期考査	定期考査 提出物 ワークシート	提出物 授業態度
2	・アリの生態を紹介しながら人間社会の問題点について述べた文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする。 ・積極的に筆者の主張をふまえ、学習課題に沿って自分の考えを文章にまとめようとしている。 ［教材］ 働かないアリに意義がある	a：文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 b［ 書 ］：自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。 c：学習課題に沿って積極的に慣用表現について調べたり、表現効果について考えたりすることで、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。	定期考査	定期考査 提出物 ワークシート	提出物 授業態度
	・情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。 ［教材］ なぜ多様性が必要か	a：語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b［ 読 ］：動的平衡という視点から生態系を捉える筆者の主張を把握し、生物多様性が必要な理由について本文を読みながら考察する。 c：生物多様性の必要性について述べた本文を粘り強く読み、学習課題に沿って内容の理解を深めようとしている。	定期考査	定期考査 提出物 ワークシート	提出物 授業態度
	・生体認証技術の持つ課題を文脈から把握し、それが現代社会に投げかける意味について考えを深める。 ・情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。 ［教材］ 生体認証技術の発展と未来	a：文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 b［ 書 ］：自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。 c：学習課題に沿って積極的に本文中の語句や表現について考えることで、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。	定期考査	定期考査 提出物 ワークシート	提出物 授業態度
3	・情報の分析に基づく論理展開と対比構造を把握し、将来の社会のあり方を構想する広い視野を培う。 ・文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 ［教材］ コミュニティ空間としての都市	a：情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。 b［ 書 ］：将来の社会のあり方について述べた文章の内容を基に、自分の考えを論述する。 c：粘り強く本文中で提示される調査結果と筆者の意見との関係を捉え、積極的に説明しようとしている。	定期考査	定期考査 提出物 ワークシート	提出物 授業態度

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　0　）時間

・書くこと　…　（　30　）時間

・読むこと　…　（　40　）時間